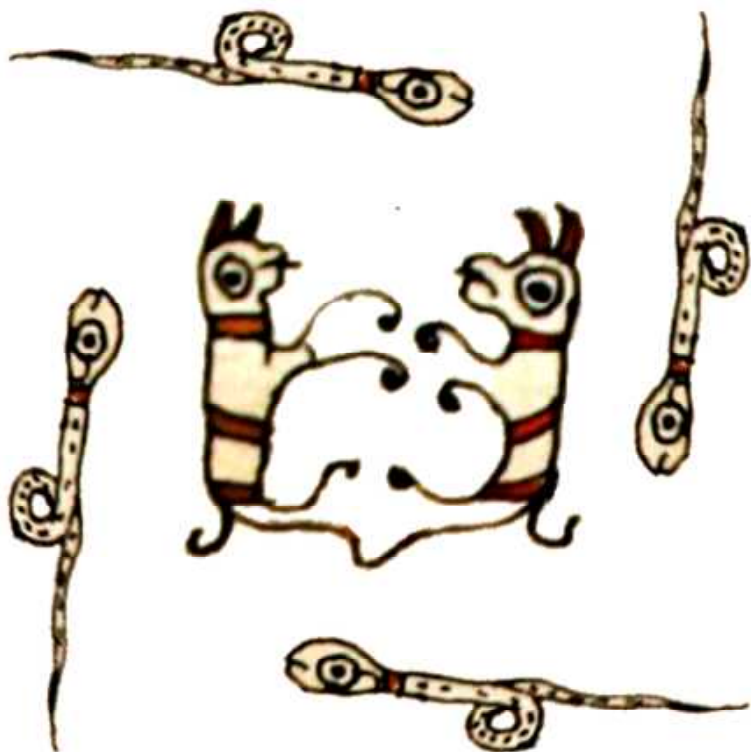


親子礼拝説教ガイド

2024年2、3月



【年間テーマ】自分の願いを知る (詩27より)

ひとつのことを主に願い／それだけを求めよう

【2月のテーマ】 私の将来

表面的には身勝手に思える願いでも、その奥には人間としての大切な願いがあることを学んできました。正しい願いでも必ずしもかなうわけではありませんが、大人は人生をどう計画して歩んできたでしょうか。若者は自分の将来をどう計画するのでしょうか。

【3月のテーマ】 ただ一つの願い

教会学校で一年間向き合った自身の願いと、そのかなえかたを思いつつ、年度末には自分にとっていちばん大切な願いをもう一度考えてみます。

2月4日 ヨブ記 第7章 15節

私の魂は息を奪われることを願い

骨にとどまるよりも死を選ぶ

《聖書理解と説教作成のために》

ヨブは病気で苦しんだ時「生まれてこなければ良かった(3章)」と自分を呪って自らの死を願いました。信仰的に正しい態度ではないといっても、苦しく希望がないときは誰でもそうなるかもしれません。自分のために生きる人

は、自分が苦しく自分に希望がないと生きる意味がなくなります。

2月11日 マタイ 第25章 14～18節

天の国はまた次のようにたとえられる。ある人が旅行に出かけるとき僕たちを呼んで自分の財産を預けた。それぞれの力に応じて一人には五タラントン、一人には二タラントン、もう一人には一タラントンを預けて旅に出かけた。早速五タラントン預かった者は出て行き、それで商売をして他に五タラントンをもうけた。同じように、二タラントン預かった者も他に二タラントンをもうけた。しかし一タラントン預かった者は出て行って穴を掘り、主人の金を隠しておいた。

《聖書理解のために》

イエスさまの譬え話です。リスクのある商売よりも安全な資産管理を目指した人は、主人の財産を穴に隠しました。長所を活かすよりも失敗のないことを目指す日本の文化では評価されることですが、この後厳しく裁かれます。この下僕の「願い」は、主人の意図や希望には無関心で、ただ身の安全だけを願っていたのです。

《説教作成にあたって》

「身の安全」は「願い」ではなく、何かの願いをかなえるための手段です。手段と目的を取り違えていたことに気付くと、自分の真の願いもはっきりします。

2月18日 申命記 第3章 27、28節

ピスガの頂上に登り東西南北を見渡すのだ。お前は
このヨルダン川を渡って行けないのだから、自分の
目でよく見ておくがよい。ヨシュアを任務に就け、
彼を力づけ、励ましなさい。彼はこの民の先頭に立
ってお前が今見ている土地を彼らに受け継がせるで
あろう。

《聖書理解のために》

神に導かれたモーセは、イスラエルの民を率いてエジ
プトから「乳と蜜の流れる地＝カナン」に定住しようとしま
した。頑固な民をうまく指導できなかった責任から、カナ
ンの地を目前に見渡したところで死ぬことになりました。
聖書は神が「約束の地」を見渡すよう命じた場面です。

《説教作成にあたって》

ずっと目指してきたことが実現の直前で駄目になっ
たと考えれば、モーセの生涯は悲惨です。一生を一つの願
いをもって生き、そのために精一杯のことが出来たと捉え
は恵に気付くかもしれません。人が死ぬのに「ちょうど良

い時」は、本人にとってはありません。

2月25日 ルカ 第12章 16b~19節

ある金持の畑が豊作であった。そこで彼は心の中で「どうしようか、わたしの作物をしまっておく所がないのだが」と思いめぐらして、言った「こうしよう。わたしの倉を取りこわし、もっと大きいのを建ててそこに穀物や食糧を全部しまい込もう。そして自分の魂に言おう。魂よ、おまえには長年分の食糧がたくさんたくわえてある。さあ安心せよ、食べ、飲め、楽しめ」。

《聖書理解のために》

イエスさまの譬え話です。金持は豊作に喜び、資産があることを前提に人生設計をし直しました。ところが聖書の続きでは、この金持はその日のうちに死ぬことになっています。「自分のために宝を積んで神に対して富まない者は、これと同じである(21)」と警告されます。

《説教作成にあたって》

心の平安を願い求めることも、喜び楽しんで暮らすことも良いことです。しかし命に限りのあること、命は自由にはできないことを考えると、願い求めるべき平安も、喜びや楽しみも、もっと純粋なものになるでしょう。

3月3日 箴言 第30章8節

二つのことをあなたに願います／わたしが死ぬまで、それを拒まないでください／むなしいもの、偽りの言葉を／わたしから遠ざけてください／貧しくもせず、金持ちにもせず／わたしのために定められたパンで／わたしを養ってください

《聖書理解と説教作成のために》

知恵の言葉といわれる箴言は、死ぬまでずっと叶えてほしいこととして生活が正しく整えられることを願います。本人の真の願いごとは、生活が整えられた上では自分で努力し勝ち取りたいのでしょう。

3月10日 コロサイの信徒への手紙 第1章9、10節

こういうわけで、そのことを聞いたときから私たちは絶えずあなたがたのために祈り、願っています。どうか霊によるあらゆる知恵と理解によって神の御心を十分悟り、すべての点で主に喜ばれるように主に従って歩み、あらゆる善い業を行って実を結び、神をますます深く知るように。

《聖書理解のために》

手紙の著者は、名宛て人が信仰に歩むことを願っています。最も大切な人が幸せになることは、大人にとっては

最大の願いかもしれません。

《説教作成にあたって》

若者は他者の救い以前に自我の確立を優先すべきでしょう。ただし大人たちに愛され祈られているのを知ることが、自我を良い方向に形成させます。

3月17日 ルカによる福音書 第10章5、6節

どこかの家に入ったら、まず「この家に平和があるように」と言いなさい。平和の子がそこにいるならあなたがたの願う平和はその人にとどまる。もしいなければ、その平和はあなたがたに戻ってくる。

《聖書理解と説教作成のために》

弟子たちを伝道に遣わす前の主のお教えです。人の平和を願うと、少なくとも願った自分は平和になるようです。実際に、真剣に目の前の人の平和を願うと、平和の意味が新しく分かってきます。

3月24日 詩38篇 10節

わたしの主よ、わたしの願いはすべて御前にあり
嘆きもあなたには隠されていません

《聖書理解のために》

自分の罪を深く自覚した時、詩人は己の願いが御心に

かなわなかったことを悟りました。しかしその願いの奥には切実で正当な求めのありました。その心の奥を神はご存じであるという信頼のもとで悔い改めを祈ります。

《説教作成にあたって》

私たちの願いは、神の聖性を感じるとどう祈って良いかわからなくなりますが、それは信仰の正しい状態でしょう。それでも神は執り成してくださいます。ローマ8:26以下を参照してください。

3月31日 詩27篇 4a節

ひとつのことを主に願い、それだけを求めよう

《聖書理解と説教作成のために》

説教ガイド「年間主題聖句詩27篇 4a節」を参照してください。

この日はイースターです。私たちの正直な願いはキリストの復活とは無関係のように思えるのが普通です。しかし限りある命が、その限界が破られたことで、老人も将来に向かって夢を思い描くことができるようになりました(ヨエル書3:1)。キリストの復活は不信者にはつまずきですし、信仰者にも謎です。しかし信仰者として現世を超えた希望を示したいものです。